

日独共同大学院プログラム手続き一覧

2014年度

	提出先	書類	短期	短期 (学振)	長期	長期 (学振)	書式入手 方法	備考
渡航前	IGK→ハレ大学	Anmeldung zum Gaststudium			●		WEB (ハレ大学)	在学証明書(英文)添付、写真(パスポート用)一枚 夏学期から学籍登録する場合は11月15日、冬学期からの場合は5月15日までにハレ大学に正式提出。 正式提出の1ヶ月前にIGKに提出のこと。 <a href="http://www.international.uni-halle.de/international_office/studierende/international_students/exchange_students/">http://www.international.uni-halle.de/international_office/studierende/international_students/exchange_students/</a>
	IGK→ハレ大学	Antrag auf einen Wohnplatz			●		WEB (ハレ大学)	通知を受けたら可能な限り早くWEB上で申込みのこと。 <a href="http://tl1.host.de/SWHAL/wohnheimaufnahmeantrag.html?lang_id=1">http://tl1.host.de/SWHAL/wohnheimaufnahmeantrag.html?lang_id=1</a>
	IGK→ハレ大学	Gastwissenschaftlerとしての受入希望				●		書式なし
	IGK→ハレ大学	ハレ指導教員への受入希望			●	●		書式なし
	教務課大学院係	留学許可願			●		HP参照	ハレ大学入学許可証添付 前に研究科教育会議で承認が必要。渡航前月の初旬をめどに提出。ただし、研究科教育会議は8月には開催されない。
	教務課大学院係	研究指導委託申請書				●	HP参照	Gastwissenschaftlerとしての受入許可取得後
	教務課大学院係	海外渡航申請書	●	●			HP参照	2ヶ月以上の場合 出発前に研究科教育会議で承認が必要。渡航前月の初旬をめどに提出。ただし、研究科教育会議は8月には開催されない。
	教務課大学院係	海外旅行届	●	●			HP参照	2ヶ月未満の場合
	教務課大学院係	フィールドリサーチの必要性に関する 指導教員の理由書		●				書式なし
	教務課奨学金係→ 日本学生支援機構	留学奨学金継続願			(●)			該当者のみ
	学振	研究指導の委託許可証明				●	学振	
	学振	海外渡航届		●		●	学振	1ヶ月以上の場合のみ。 渡航前に研究科教育会議で承認が必要。渡航前月の初旬をめどに提出。ただし、研究科教育会議は8月には開催されない。
	IGK	保険の証明	●	●				証書コピー、クレジットカード付帯の場合には約款コピー
	IGK	旅費(依頼)申請書	●	●	●	●	HP参照	見積・フライトスケジュール・領収書を添付 渡航1ヶ月前には提出
	IGK	取引先データ登録依頼書	●	●	●	●	HP参照	未登録の場合のみ
IGK	誓約書	●	●	●	●	IGK (Word)	旅費申請時	
ビザ取得時	旅費支給に関する研究科長の証明書			●		IGK	旅費(依頼)申請書提出後にIGK担当者が作成。研究科長決済。	
ビザ取得時	学振による収入証明書(英文)				●	学振		
渡航後	IGK	旅行報告書	●	●	●	●		旅費申請書ファイルにある報告書(シート)を事前にメールで担当者まで送付し、航空券の半券を原則として帰国後一週間以内に提出のこと。
	IGK	報告書(長文)	●	●	●	●	HP参照	帰国後1ヶ月以内。ただし、6月、9月、12月、3月帰国者は、当該月20日までに提出。20日を過ぎて帰国する場合には、事前に相談のこと。

※ハレ大学での学籍登録は学期開始の半月前までには終えること。

※年度末は、3月5日をめどに必ずいったん日本に帰国すること(但し春季合同セミナーには特別な理由がない限り出席のこと)。

※書類提出 べ切厳守。財源の性質上、手続に不備がある場合には渡航できなくなることもあるため、十分に注意のこと。

※IGK以外に提出する書類についても、念のため、控を提出のこと。

※学振特別研究員は科研費との複合財源も可能。その場合には、書類提出は自己責任で行うこと。ただし、念のため、書類の控を提出のこと。

※休学者が海外滞在旅費を受給する際には、出発日までに必ず復学すること。